令和４年度

社会福祉法人ファミリーケアサービス

事　業　報　告

目 次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス
…p3

すこやか横手
…p3 ～ p4

特別養護老人ホームすこやか横手
ショートステイすこやか横手（介護予防）
ケアハウスすこやか横手
老人介護支援センターすこやか横手
すこやか横手居宅介護支援センター
デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）
すこやか横手ホームヘルパーステーション

すこやか大雄
…p4 ～ p5

特別養護老人ホームすこやか大雄
ショートステイすこやか大雄（介護予防）
老人介護支援センターすこやか大雄
居宅介護支援事業所すこやか大雄

すこやか森の家
…p5 ～ p6

特別養護老人ホームすこやか森の家
ショートステイすこやか森の家（介護予防）
デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）

シルバードームいきいきの郷
…p6 ～ p8

特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）
デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第1号通所）
増田町居宅介護支援事業所
増田町在宅介護支援センター

すこやか館合
…p8 ～ p9

特別養護老人ホームすこやか館合
ショートステイすこやか館合（介護予防）
小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

児童発達支援事業「モモの家」
…p9

県南愛児園ドリームハウス
…p9 ～ p10

横手市サンハイム
…p10

障害者支援施設「ひまわり社」
…p10

事業報告(統計資料)

すこやか横手
…p12 ～ p14

すこやか大雄
…p15 ～ p17

すこやか森の家
…p17 ～ p19

シルバードームいきいきの郷
…p19 ～ p22

すこやか館合
…p22 ～ p24

児童発達支援事業「モモの家」
…p24

県南愛児園ドリームハウス
…p25

横手市サンハイム
…p26

障害者支援施設「ひまわり社」
…p27

令和４年度社会福祉法人ファミリーケアサービス事業報告

１．社会福祉法人ファミリーケアサービス

新型コロナウイルス感染が各施設で発生し、一時的な事業休止や、濃厚接触の状況観察等による職員体制上から、利用者の受け入れを制限しなければならない状況があった。これに伴い大幅な収入減、支出増となり、厳しい収支状況となった。

児童養護施設県南愛児園の施設整備においては、開設準備室を設置し、令和５年度の施設整備費補助金申請及び中古住宅（土地含む）の購入、建設地の選定等を具体的に進めた。

重点課題の一つである職員研修体制の検討と実施は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下、取り組むことができなった。

新型コロナウイルス感染への対応で経過した年度であったが、令和５年５月に感染法上の位置づけが２類から５類に移行することに基づき、また、コロナ禍の３年間の経験を踏まえて、感染症への対応と事業活動を再構築していく必要がある。

２．特別養護老人ホームすこやか横手

今年度は１４名の入居者が亡くなり、全て施設で看取っている。面会については、面会時間や面会場所の制限はあるが県内外の方を受け入れ対応している。その他、自宅への短時間の外出や外食、買い物外出の機会も設け対応してきた。

８月にクラスター感染が起こり、約３週間感染対応に追われた。年末は数名の感染が確認されたがクラスターには至らなかった。

記録のデジタル化も軌道に乗っており、今後はさらなる活用につなげたい。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞

目標　　年間延べ　１７，５２０人（４８．０人／日　稼働率９６．０％）

実績　　年間延べ　１６，８４６人（４６．２人／日　稼働率９２．３％）

＜要因＞

コロナクラスターにより、入居調整をすすめる事が困難な時期があり、退去後の空床期間が延びた。

３．ショートステイすこやか横手（介護予防）

職員と利用者が新型コロナウイルス感染症に感染した影響により、職員体制が不十分で入所の受け入れ制限などをしたことから、目標の稼働率を達成出来なかった。また、定期利用者の施設入所や体調不良による利用のキャンセルが目立った１年でもあった。

その中でも利用者・利用者家族・ケアマネージャーとの連携や信頼関係を築くことができたことにより、再利用をする利用者を多く固定できた。また、ショートステイとデイサービスの事業所間の連携により、感染対策の適切な予防策を講じ、新型コロナウイルス感染が拡大しないよう対策を徹底した。

安定した稼働率確保に向けて、より迅速な利用調整と新規利用者獲得に向けて引き続き多職種との連携を強化していく。

＜提供目標と実績（定員２０名）＞

目標　　年間延べ　６，７１６人（　１８．４人／日　稼働率９２．０％）

実績　　年間延べ　６，０９５人（　１６．７人／日　稼働率８３．５％）

＜要因＞

定期利用者の施設入所や体調不良による利用キャンセルが多くみられた。また、新型コロナウイルス感染により入所の受け入れを制限したことも稼働率を低下させる要因となった。

４．ケアハウスすこやか横手

新規入所者３名、退所者５名、平均年齢が８８．４才、居住平均年数が４．４年と入居者の高齢化が進み、介護を必要とする方が増えてきている。

新型コロナウイルス感染症が長期化し、当ケアハウスも入居者８名、職員２名の感染が確認され、ADL 低下による寝たきりや循環器系の疾患による長期入院で退去された。

居室環境としては、築２７年が過ぎ、外壁や居室内の台所設備、壁紙の変色、トイレ設備、水道管の腐食と水

漏れが見られ、長期修繕計画を作成、補修を行い、入居者の暮らしに支障がでない環境整備の取り組みも必要である。
入居者の認知機能や身体機能の維持に努めながら、家族及び居宅介護支援事業所と連携を密にし、利用者が安心して生活が送れるように支援していきたい。

５．老人介護支援センターすこやか横手

地域の高齢者等から、様々な相談に総合的に応じ、必要に応じた各種の保健・福祉サービスが受けられるように関係機関と横断的連携により住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援を行った。また、地域包括支援センターと定期的に情報交換会を行いながら、複合世帯ニーズ・孤立している世帯・経済的困窮者等の支援を行った。
引き続き、横手市からの受託事業（横手市地域包括支援センターのブランチ）として、地域の要援護高齢者及びその家族の福祉の向上を図っていく。

６．すこやか横手居宅介護支援センター

コロナウイルス感染症の影響で、多くのサービス提供事業所が休業、人員不足となり、地域に暮らしている高齢者は必要な介護サービスを受けることができなくなり、コロナウイルスに感染しても自宅で療養生活をしなければならない状況になった。その中でも、限られた社会資源の中で命を守り生活を続けられるように支援を行った。
＜提供目標と実績＞
目標：介護給付　１２５件／月
実績：介護給付　１２１件／月
＜要因＞
コロナウイルス感染症の影響による、担当利用者の入院、利用控え、サービス提供事業所の休業に伴い目標値に至らなかった。

７．デイサービスセンターすこやか横手（第１号通所）

新型コロナウイルス感染症が発症し、休業をしたこともあり、稼働率低下に大きく影響した。感染対策を講じながら営業はしたものの入浴サービスを提供できない期間もあったが、入浴サービスの提供はなくとも、利用される方が多かった。
また、他事業所閉所に伴い、当事業所に切替していただいた利用者があったが、ショートステイの利用、永眠や入院に伴う利用状況の変動が大きかった。今後も引き続き新規の受け入れ、利用回数増の対応、空き利用の受け入れを行っていく必要がある。
サービス提供については、コロナ禍にて外部のボランティアや慰問等を受け入れ中止としているが、レクリエーション活動の内容を工夫しながら対応できた。利用者個々のケアについては、介護・看護とも連携を図りながら対応できており、今後も利用者が安心・安全・快適に過ごすことができるような過ごし方の工夫と利用者や家族の要望に応えられるサービス内容の提供をしていきたい。
＜提供目標と実績（定員３０名）＞
目標　年間述べ　４，６９５人（１５．０人／日　利用率５０．０％）
実績　年間延べ　４，０００人（１２．８人／日　利用率４２．６％）
＜要因＞
新型コロナウイルスクラスター発生のため、営業を休止せざるを得ず、大幅な稼働率低下となった。

８．すこやか横手ホームヘルパーステーション

介護職員不足の解消と経営改善への対応として、平成２９年８月１日から事業を休止する。現在も休止中。

９．特別養護老人ホームすこやか大雄

新型コロナウイルス感染対策のため、勤務調整により対象職員が出勤を控える事が多く、また法人内施設への応援やクラスターの発生もあり、厳しい職員体制であった。日々のケアについては、感染症予防・拡大防止に努めながら、入院者数を抑え、サービス提供を実施できた。
施設での看取りについて、今年度は退所者１０名の内、５名の入居者が施設で最期を迎えた。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞
目標　年間延べ　１７，３３８名（４７．５名　利用率　９５．０％）
実績　年間延べ　１６，６７９名（４５．７名　利用率　９１．４％）
＜要因＞
入居調整において情報収集・事前調査の調整に時間を要す事があった。また、入居予定者のサービス利用事業所でのクラスターの発生等により、入居日が遅れることがあった。

１０．ショートステイすこやか大雄（介護予防）
年末にコロナ感染が発生し施設クラスターとなったが、職員の連携によって感染の拡大を最小限に抑える事ができた。
認知症の利用者の対応に苦慮する場面も多かったが、情報共有しながらのサービス提供に努めた。また、感染対策に配慮しながらも季節の行事や畑の収穫、ユニット調理等の活動をご利用者と一緒に行なうことができた。
＜提供目標と実績（定員１０名）＞
目標　年間延べ　３，６５０名（１０．０名　　利用率１００．０％）
実績　年間延べ　３，１９５名（　８．８名　　利用率　８７．５％）
＜要因＞
コロナ感染や体調不良による入院、他施設への入所等による利用中止が多く、新規利用者の確保が追い付かない事により利用率が目標を下回った。

１１．老人介護支援センターすこやか大雄
相談窓口業務は施設入所関係が殆どであったが、介護サービス利用に関しての相談を受けた際は居宅と連携し対応を行なった。地域ケア会議や小ネットワーク会議等へも継続して参加し、地域状況の把握に努めた。また大雄支えあいネットの構成員として会議に参加し、協議体活動への協力を行っている。
＜活動実績＞
内　容　大雄地区ケア会議出席（６，１月出席）
大雄地区小ネットワーク会議出席（大雄地区２１ヶ所実施　／　１１ヶ所へ出席）
大雄支えあいネット（大雄地域第２層協議体）構成員として参加
＜相談実績＞
相談件数：２２５件（施設入所関係２２１件）

１２．居宅介護支援事業所すこやか大雄
事業所移転後、2年経過し地域の相談窓口として広く周知され、相談件数も増えてきている。
各種研修会や地域ケア会議に参加し、専門的な知識や技術の習得に努め、介護支援専門員としての資質の向上を図った。
＜提供目標と実績＞
目標　介護給付管理　月間８８．０件（予防含む）
実績　介護給付管理　月間５８．６件　介護予防支援計画　月間８．２５件
＜要因＞
新規利用者の開拓と事業所体制の強化を図る為、介護支援専門員の増員に向けた採用活動を行ったが増員にならず、月間目標件数には至らなかった。
特別養護老人ホームへの入所、死亡による契約期間終了や長期入院により実績に結びつかないケースがあった。

１３．特別養護老人ホームすこやか森の家
令和４年度の稼働目標の９５％に対し、年間稼働率は９０．９％であった。退所から入所に至るまでの期間が、重点課題に掲げていた２週間を超えて空床状態があった。新型コロナウイルスにより事前面談や調整に時間を要することもあり、稼働に影響があった。また、入院期間は短くなったものの、入院回数は多く、稼働低下の要因になっている。空床期間の短縮のため、入所申し込み者の整理等の事前準備を徹底して行っていきたい。
新型コロナウイルスに関しては、１２月から１月にかけて特養においてクラスターが発生したが、重症化する方もおらず、終息を迎えることができた。日々の感染対策が如何に重要であるか、普段からのシミュレーションの重要さを再認識した。ＢＣＰの策定・見直しを行いながら、発生時を想定したシミュレーション訓練を実施し、

備えていきたい。
　コロナ禍のため、ご入居者やそのご家族には、行事の縮小や面会の制限があり、ご入居者の心身に与える影響は大きなものがあると痛感した。生活に制限がある中でもできる形を工夫した行事を開催できたことは、ご入居者のゆとりある生活の実現に繋がる取り組みであった。
＜提供目標と実績（定員３０名）＞
　目標　年間延べ　１０，４０２人（２８．５人／日　利用率９５．０％）
　実績　年間延べ　　９，９５４人（２７．３人／日　利用率９０．９％）
＜要因＞　・退所から新規入所までの調整に時間を要したため。
　　・年間を通じて入院者数が増加したため。

１４．ショートステイすこやか森の家（介護予防）
　令和４年度では１２月から１月にかけ、施設内における新型コロナウイルスのクラスター発生により、利用者数を必要最低限に留める等の対策を講じたことで稼働率に大きな影響があった。
また、在宅にて利用者自身が新型コロナウイルスの感染・濃厚接触者となり、利用が中止となるケースも多くみられた。
　その他にも、長期利用者の特養・他施設への入所、定期利用者の逝去、他施設への移行等があり、新規利用者の受け入れを積極的に行ったが、職員のコロナウイルス感染に伴い休まざるを得ないケースも目立ち、利用調整の抑制を余儀なくされることもあった。
　そのような状況下ではあったが、感染対策に留意しつつ浅舞公園のあやめ鑑賞や気分転換のドライブ外出等の屋外での行事を実施し、利用者の笑顔に触れることができた。
　今後、新型コロナウイルスが５類へ移行されるが、これまでの感染対策の実施は引き続き行いつつ、サービスコンセプトの充実化や行事や活動の実施などを通して利用される方へ楽しみながら過ごすことのできる時間を提供できるように努めていきたいと考える。
＜提供目標と実績（定員２０名）＞
　目標　年間延べ　６，７５２人（１８．５人／日　利用率９２．５％）
　実績　年間延べ　６，０１２人（１６．５人／日　利用率８２．４％）
＜要因＞
　長期利用者の施設入所や逝去、他サービスへの移行があった。
　新型コロナウイルスの影響による利用キャンセル・職員罹患に伴う利用調整が必要となった。

１５．デイサービスセンターすこやか森の家（第１号通所）
　令和４年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、施設内（デイ・特養）の二度のクラスター発生によりサービスを休止した期間は合計で３０日に及んだ。さらに、それを機に他事業所へ利用先を変更した利用者や、感染を心配し利用を控える利用者もみられた。
　また、今年度は新規利用者の受け入れに力を入れることを目標にし、２８名の新規利用者を受け入れした。しかし、一方で利用廃止者が２１名おり、利用率の向上へは繋がらなかった。
年度途中の退職者や長期休養が必要な職員が数名いたため、職員体制が安定せず、新規利用者の受け入れを控えなくてはならない時期があったことも利用率が上がらない要因の一つになったと考えられる。
　感染対策により、利用者間の交流に制限がある中、役割を担う機会や、季節を感じて頂けるレクリエーションの実施を行った。
　今年度は、ＩＣＴ導入後からの業務の効率化と環境整備により、柔軟なご利用者の見守り体制作りができた。
＜提供目標と実績（定員　２５名）
　目標　年間延べ　６，０２３人（１６．５人／日　利用率６８．０％）
　実績　年間延べ　４，６００人（１２．６人／日　利用率５０．４％）
＜要因＞
　新型コロナウイルスの感染拡大の影響。
　職員体制が万全ではなく新規利用の受け入れが積極的に行えなかった期間があったこと。

１６．特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
　行政や居宅支援事業所の意向も強く、中重度者の受け入れに力を入れたが、入所申込者の動向調査・事前面談

に関してはコロナ禍の中での制限により、面談者に関しては本人と会えないまま手探りの中進めていく状況であった。
　９月に入居者４名の新型コロナウイルス感染があり、１２月には入居者２７名（短期入所２名を含む）職員５名のクラスターが発生した。
　新型コロナウイルス感染や濃厚接触者扱いでの出勤停止者も多く職員体制にも影響を及ぼしたが、勤務調整等の職員の協力により乗り切れた。
＜提供目標と実績（定員５０名）＞
　目標　年間延べ　１７，３３７人（４７．５人／日　利用率９５．０％）
　実績　年間延べ　１７，１０７人（４６．９人／日　利用率９３．７％）
＜要因＞
　３０名の永眠者があった。特に１２月以降１３名の永眠者があったため、入居調整が集中した。

１７．ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）
　利用者、家族との関係を築き、他職種間で情報共有を図り、利用者の状態の変化に対応することができた。
　入所時の体調の確認、検温、利用中のマスクの着用、対面に座らない、特養入所者との接触を極力減らす等、新型コロナウイルス感染予防に努めた。
　また、新型コロナウイルス感染症発生時には迅速な対応を取る事ができ、長期入所の利用者以外に感染させずに自宅帰すことができた。
　職員の風邪症状での観察や、濃厚接触者該当する等のケースが増え、職員の体制が整わない事も多く、他事業所の新型コロナウイルスによる休業により、新規の問い合わせがあるも受け入れができないケースあった。
＜提供目標と実績（定員１１名）＞
　目標　年間延べ　３，６２３人（稼働率９．９人／日　利用率９０．０％）
　実績　年間延べ　３，０９５人（稼働率８．５人／日　利用率７７．１％）
＜要因＞
　新型コロナウイルス感染のクラスター発生により、８／２９～９／１８、１２／３０～１／３１の期間受け入れを休止した。また、新規契約者１６名だが施設入所や亡くなるなどし、定期的な利用に結びついたのは5名であった。

１８．デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第１号通所）
　創作活動の見直しを行い、利用者個々の得意な事を活かして創作意欲に繋げられるように努めた。しかし、活動の準備が間に合わないことも多く、また、自身で役割を意識して活動に取り組まれる利用者も少ない状況があり、今後も継続して取り組んでいく。
　月刊広報誌「かだる」やホームページでの活動紹介で情報提供を行うと共に、常時各居宅介護事業所へ定期、スポット利用への働き掛けを行い、利用率向上に努めたが、コロナ禍の影響もあり、利用率増には結び付かなかった。
＜提供目標と実績（定員１８名）＞
　目標　年間延べ　４，５７６人（１４．８人／日　稼働率８２．０％）
　実績　年間延べ　４，０５８人（１３．１人／日　稼働率７２．７％）
＜要因＞
　施設内における新型コロナウイルス感染により、年間２９日間の休止があったため。

１９．増田町居宅介護支援事業所
　新型コロナウイルス感染症の影響で複数の事業所の休業や人員不足があり必要な介護サービスを受けられずに過ごした方は昨年度より増加している。限られた社会資源の中、各介護支援専門員が支援を行った。
　居宅介護支援の提供のみならず、より質の高い居宅介護支援を提供できるよう他法人との勉強会や、ＩＣＴを活用した研修会企画等を行っている。
　３年目になる中学生向けの企業説明会の他、社会福祉協議会が主催するボランティア講座への講師依頼を受け、地域における人材育成、啓発に努めた。
＜提供目標と実績＞
　　目標　１２５．０件／月

実績　１２０．３件／月
＜要因＞
毎月新規依頼はあったものの、それを上回る終了者があった。亡くなられた他、今年度はグループホームへの入居による終了が特に多かった。

２０．増田町在宅介護支援センター
社会福祉協議会が主催する小ネットワーク会議へ参加し、地域の民生委員等と共に要援護者を把握し必要に応じて各種の保健・福祉サービスが受けられるよう情報共有を行った。
また昨年度から引き続き、地域包括支援センターとの情報交換会において、センターの取り組みや包括支援センターとの連携について協議している。

２１．特別養護老人ホームすこやか館合
職員個々の意識を高め入居者の尊厳を守り安全に過ごしていただけるように努めている。限られた資源の中で有効かつ精力的に各々が努力し対応することができていた。
また入居者の健康管理においても、１２月新型コロナウイルス感染症のクラスターは阻止できなかったものの、その後は厳格な感染対策のもと新型コロナウイルス感染症はもとより各種感染症の流行を阻止でき健康維持に努めることができた。
新型コロナウイルス感染症における社会の自粛傾向から、感染対策強化に伴い地域交流会等の取り組みが中止せざるを得ない状況だった。今後感染状況を見定め新たな視点から地域との関わり方を模索していきたい。
＜提供目標と実績（定員２９名）＞
目標　年間延べ　１０，１６１人（　２７．８　人／日　利用率　９６．０％）
実績　年間延べ　　８，１５３人（　２２．３　人／日　利用率　７７．０％）
＜要因＞
新型コロナウイルス感染症により、新規入所予定者の罹患や入所前施設のクラスター等により、入所調整に時間がかかったこと、また館合においても１２月の同病のクラスターによるユニット閉鎖等感染対策により調整の遅延があったこともあるが、入居調整の不手際や、施設の体制上待機者のニーズを受け止めきれない部分も多く、今後の課題として厳粛に受け止めるべく、体制の整備と速やかに入居出来るよう調整していきたい。

２２．ショートステイすこやか館合
基本方針に基づき、利用者、利用者家族と信頼関係を構築し、笑顔あふれる親切丁寧な対応を心掛け、満足できる時間を過ごしていただけるよう職員一同、声を掛け合いながら支援に努めた。
重点課題にも挙げている新型コロナウイルス感染防止について、周辺の感染状況や国の方針等の情報収集に努め、日頃の感染対策へと反映させた。年末に併設施設でのクラスター発生に伴い、利用受け入れを中止せざるを得ない状況になったことで、各所に多大なご迷惑をお掛けすることとなってしまったが、これを今後の糧としていきたい。また、クラスター終息後の稼働の伸び悩みがみられ、速やかな稼働率の回復には繋げることができなかったことを今後の反省すべき点とし、令和５年度の目標達成のため尽力したい。
昨年度よりＩＣＴを導入し記録等、事務作業の効率化の足掛かりとすることができた。しかし、導入はしたものの記録の内容や活用方法に関して、今一つ不十分な点があるため、適宜見直しをかけながら運用していきたい。
＜提供目標と実績（定員２０名）＞
目標　年間延べ　５，４７２人（１４．７人／日　利用率７５．０％）
実績　年間延べ　４，４８０人（１２．３人／日　利用率６１．４％）
＜要因＞
目標を達成することができなかった要因の一つとして、クラスター発生に伴う受け入れ中止の影響が大きい。それ以外にも施設での感染対策との兼ね合いにより円滑な受け入れを実施することができなかった事が挙げられる。

２３．小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）
基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる地域生活の実現」に努めた。
重点課題「新型コロナウイルス感染防止の徹底」については、ご利用者、ご家族にも感染対策を理解、協力を

していただいき、感染状況を確認しながら、行事の日程を分ける等の工夫を行った。
施設クラスター発生時には通所利用を制限し訪問に切り替え、安否確認、入浴介助等を行うことで、在宅生活を送るための支援ができた。越冬利用中の利用者に対しては個室対応として、感染対策を徹底した。また、訪問を必要としなかった利用者に対しては登録解除とした。
＜提供目標と実績（登録定員２５人）＞
目標　月間登録者数　１８．０人　（利用率　７２．０％）
実績　月間登録者数　１５．６人　（利用率　６２．８％）
＜要因＞
令和４年度は登録者数１８名から始まり、１年を通して登録解除者数が６名（内５名は他施設入所）だった。利用相談も４名と相談自体が少なく、内３名は登録に繋がったが、年度末の３月に登録（３名共）だったため、利用率の上昇には繋がらなかった。
１２月に併設する特養でクラスターが発生してしまい、多機能も２週間通所利用を制限した。制限中は必要に応じて通所を訪問に変更したが、訪問を必要としなかった利用者１０名については、登録解除としたことも利用率の減少に繋がった。
また、以前から入院すると施設入所を希望する家族が多かったが、施設に空きが無く、入所が決まるまで多機能の再利用を希望する家族が多かった。
今年は、待ちが少なく入所ができる施設（大仙市の特養や西部地区のグループホーム等）が多かった事も利用率の減少に繋がった。

２４．児童発達支援事業「モモの家」
令和４年度の在籍児童数は６７名で、内訳は６歳児２１名、５歳児２０名、４歳児１３名、３歳児１１名、１歳児２名であった。新入園児は２８名で、昨年度より３名多かった。９月以降は入園児数の増加により、日によっては定員を超えないよう利用調整が必要な場合もあった。しかし、一方で年間を通しての実績数は思うように伸びないままであった。
支援に関しては、今年度もそれぞれのケースに合わせたきめ細やかな対応を目指し、職員間での情報共有や話し合いを密にしながら、必要に応じて関係機関と連携をとるなどして行ってきた。個別支援計画の作成では、保護者の願いを最優先としながらも、個々の発達段階や特性を踏まえた柔軟な計画を目指し、画一的な内容にならないよう、今年度も意見を交わし合ってきた。
就学支援として、横手市教育委員会とも密に連携を図りながら、保護者の思いに寄り添うことを最優先とした支援を行った。「すくすくネットワーク」でも例年同様、地域の保育園との情報交換を行い、保育の場・療育の場双方でそれぞれの児童に効果的な支援が行えるような連絡調整を行った。
健康相談は、初めて歯科医（湯沢市　山本歯科医院　小原妥子医師）による講話が実現した。子どもの歯については保護者の方にとっても関心が高かった様子で、大変有意義な勉強会となった。

＜提供目標と実績（定員１０名）＞
目標　年間延べ　１，８２３人（７．５人／日　利用率７５．０％）
実績　年間延べ　１，３３６人（７．０人／日　利用率５５．０％）

２５．県南愛児園ドリームハウス
令和４年度、本園２６名、地域小規模児童養護施設６名、合計３２名でスタートした。年度中に１名が里親への措置変更をしたものの、継続的な支援が必要であり定期的なレスパイトケアや相談援助に心がけた。また年度末には１名が就職自立することができたが、自立支援担当職員を中心に今後も継続したアフターケアを行っていきたい。
短期利用等において、ショートステイ７人で延べ日数７９日、レスパイトケア２人で延べ日数４日、緊急一時保護５名で延べ日数２４５日（相談依頼件数４７件）という状況だった。入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。まだコロナ禍だったこともあり断ったケースもあるが、今後さらに短期利用ケースが増加傾向にあるので、今後の施設整備に反映させていきたい。
入所している児童の課題も複雑多岐にわたり、施設機能の強化や職員の支援技術の向上が求められ、一人ひとりに対応するために職員研修の充実を図った。当園ではここ数年、短期利用や一時保護等の地域子育て支援の福祉課題に直面しており、外部機関に職員を派遣し対応することができた。

施設の改築にあたり、中古家屋や土地の取得等、整備計画を遂行するため法人と一体になって取り組んだ。今後も新規施設整備に取り組むと共に、地域の児童福祉の拠点としての役割を十分果たせるよう努めたい。

２６．横手市サンハイム

令和４年度はコロナウイルスの流行の脅威をより身近に感じた１年であった。入居者の中にも罹患される方が少しずつ出てきて、職員もその対応に追われた。他の入居者へ感染が拡大しないよう職員も予防対策に努めるとともに、入居者の方々にも感染予防に協力いただいた結果、感染者の発生が続いても家族内感染に留めることができた。当施設は、親子を基本単位とした集団生活の場である。風呂や学習室など共同で利用する場もあるため、入居者の方々の感染予防への協力は必須であった。

また近年は、コロナの影響で制限ある活動を強いられてきたが、４年度はコロナ感染対策に気を配りながら少しずつ行事も開催し、親子と共に楽しい時間や思い出を作ることができた。

支援においては、令和４年度は９世帯２５名でスタートし、年度末には７世帯２２名となり入所世帯数は少なくなったものの、難しい課題をいくつも抱えている方への、支援のあり方や対応に苦心した。福祉事務所や児童相談所等沢山の関係機関の協力を得ながら支援にあたった１年であった。

２７．障害者支援施設「ひまわり社」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、数日間の臨時休業を余儀なくされたものの拡大には至らなかった。コロナ禍ではあるが、感染対策を十分にとりながらひまわり社内・外において季節ごとの行事を行い、利用者・家族に喜んでいただくことが出来た。

新規請負作業の打診を近隣企業より何件かあったものの、利用者の適性やスキル、特性と照らし合わせたところ、新しい作業の開拓へは結び付かなかった。

地域との連携（消防・防災活動相互応援協定締結、町内会回覧板でのＰＲ）を進めることが出来たが、計画していた広報紙の発行や法人ホームページの活用が出来ないでしまい、次年度実施したい。

相談支援事業においては、児童の新規利用者が増加した。

＜提供目標と実績（定員２０名）＞

生活介護	目標	年間延べ１６６６人（稼働率８５．０％）
	実績	年間延べ１６３３人（稼働率８３．６％）
就労継続支援	目標	年間延べ２６４６人（稼働率９０．０％）
	実績	年間延べ２３５０人（稼働率８１．６％）
地域生活支援	目標	６０件／月
	実績	５２件／月
相談支援	目標	２４件／月
	実績	１８件／月

＜要因＞

定期利用者の施設入所による契約解除および長期に休む利用者がいたため。また相談支援では、新規利用者の増加により計画作成に時間を要し、従来利用者について計画的に進めることができなかった。

【　資料内の用語について　】

※インシデント報告

事　故	県および市に報告したもの。（例：転倒してケガをしたために、報告した。）
インシデント	何らかの事象が生じたもの。（例：転倒したが、ケガはなかった。） ＜この場合でも状況に応じて報告したものは、事故に区分＞）
ヒヤリ・ハット	何らかの事象が生じそうになり、ヒヤリ・ハットしたもの。

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標（%）	年間延利用数（人）	1日平均（人）	利用率（%）
特養	すこやか横手	50	96.0	16,846	46.2	92.3
	すこやか大雄	50	95.0	16,679	45.7	91.4
	すこやか森の家	30	96.0	9,954	27.3	90.9
	いきいきの郷	50	95.0	17,107	46.9	93.7
	すこやか館合	29	96.0	8,153	22.3	77.0
計		209		68,739	188.33	89.1
ショートステイ	すこやか横手	20	92.0	6,095	16.7	83.5
	すこやか大雄	10	100.0	3,195	8.8	87.5
	すこやか森の家	20	92.5	6,012	16.5	82.4
	いきいきの郷	11	90.0	3,095	8.5	77.1
	すこやか館合	20	80.0	4,480	12.3	61.4
計		81		22,877	62.67	78.4
デイサービス	すこやか横手	30	50.0	4,000	12.8	42.6
	すこやか森の家	25	68.0	4,600	12.6	50.4
	いきいきの郷	18	80.0	4,058	13.1	72.7
計		73		12,658	38.47	55.2

資料１　すこやか横手

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和５年３月３１日現在）

平均　：　男性　85.1　歳　　女性　87.7　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	2	1	2	1	1	0	7
女	1	1	0	1	8	8	15	2	3	39
合計	1	1	0	3	9	10	16	3	3	46

２．入居期間別状況（令和５年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	2	3	1	1	0	0	7
女	10	8	1	5	2	13	39
合計	12	11	2	6	2	13	46

３．要介護度（令和５年３月３１日現在）　平均　4.04

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	3	2	2	0
女	0	1	7	18	12	1
合計	0	1	10	20	14	1

４．退居理由（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	13	0	13
合計	0	14	0	14

５．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
20	124	39	0	0	0	183

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
25	11	4	17	16	7	83	4	5	0	11

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	532	563	534	553	458	512	541	537	439	477	478	471	6,095
平均介護度	2.7	2.7	2.8	2.9	3.1	3.0	3.1	3.1	3.4	3.3	3.4	3.1	3.0

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
5	42	10	2	0	0	59

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
21	3	5	9	0	1	5	5	1	0	9

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ケアハウス

１．入居・退去状況

①　平均在籍期間（令和５年３月３１日現在）

在籍年数	1～6ヶ月	1～2年	3～4年	4～5年	6～7年	8～9年	10年～	平　均
人　数	2	3	2	2	2	1	1	4.4年

②　年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	6	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	61
女	9	9	9	9	8	10	10	10	10	9	9	9	111
計	15	15	15	15	13	15	15	15	15	13	13	13	172

老人介護支援センター

1.相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	5	5	2	3	2	5	4	2	8	3	1	2	42
継続相談	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	8

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	4	2	0	2	0	3	2	0	3	0	0	1	17
電　　話	5	2	0	1	2	2	1	2	5	3	0	1	24
来　　所	1	1	2	0	0	0	1	0	2	0	1	1	9

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	10	5	2	3	2	5	4	2	10	2	1	3	49
福祉事業	0	0	0	1	0	2	0	0	5	2	0	1	11
医療･入院	0	0	0	2	0	2	0	0	2	1	0	1	8
施設入所	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	1	7
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	8
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	5

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	29.0	32	32	31	29	29	26	29	28	34	34	37	37	378
2	23.1	25	23	25	23	25	24	26	24	26	25	28	27	301
3	30.7	32	39	30	33	30	35	35	34	35	35	33	29	400
4	9.0	8	9	10	10	12	11	11	11	10	8	10	8	118
5	8.2	10	9	11	9	10	9	7	8	8	8	9	8	107
合計	100	107	112	107	104	106	105	108	105	113	111	117	109	1,304

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	25	26	27	27	26	26	27	26	26	25	24	23	308
認定調査	在宅	4	3	5	0	4	4	7	8	3	4	2	4	48
	施設	3	2	3	1	0	1	2	3	0	3	2	0	20
	合計件数	7	5	8	1	4	5	9	11	3	7	4	4	376

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	362	380	380	394	137	333	400	294	251	346	336	387	4,000
平均介護度	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.54

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	23	13	5	0	0	41

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	5	1	0	0	1	7	0	0	1	13

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
5	0	0	0	0

ホームヘルパーステーション　　休止中

資料２　すこやか大雄

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和５年３月３１日現在）

平均　：　男性　　83.8　歳　　女性　　89.2　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	0	1	3	2	3	0	0	10
女	0	1	1	3	4	9	11	7	2	38
合計	0	2	1	4	7	11	14	7	2	48

２．入居期間別状況（令和５年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	3	3	1	1	1	1	10
女	6	8	6	4	8	6	38
合計	9	11	7	5	9	7	48

３．要介護度（令和５年３月３１日現在）　平均　4.3

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	3	5	10
女	1	0	5	13	19	38
合計	1	0	7	16	24	48

４．退居理由（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	7	0	7
合計	0	10	0	10

５．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
1	72	27	4	0	0	104

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
2	21	1	4	11	1	22	1	4	1	17

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
4	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	288	288	282	295	260	276	256	273	162	289	238	288	3195
平均介護度	2.82	2.69	2.87	2.83	2.77	2.89	2.93	2.90	2.71	2.85	2.94	2.98	2.84

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	15	17	0	0	0	32

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	3	2	2	0	1	1	1	0	3	0

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	13	11	30	15	18	20	22	17	19	28	16	16	225
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電　　話	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	4
来　　所	13	11	30	15	15	20	22	17	19	27	16	16	221

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
福祉事業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
医療･入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	13	11	30	15	15	20	22	17	19	27	16	16	221
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	27.0	18	18	17	16	16	16	15	15	12	15	15	17	190
2	39.3	25	24	24	25	26	24	24	22	21	20	21	21	277
3	18.3	12	12	11	12	11	11	11	10	8	9	10	12	129
4	9.1	5	4	8	7	7	5	4	4	4	6	5	5	64
5	6.3	2	2	2	3	3	3	4	6	7	4	4	4	44
合計		62	60	62	63	63	59	58	57	52	54	55	59	704

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	18	18	19	19	19	19	18	18	16	13	11	10	198
認定調査	在宅	6	3	1	2	0	4	2	2	3	5	4	2	34
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	6	3	1	2	0	4	2	2	3	5	4	2	34

資料３　すこやか森の家

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和５年３月３１日現在）

平均　：　男性　86.1　歳　　女性　87.0　歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	1	0	0	1	2	2	1	0	7
女	0	1	0	1	6	6	4	4	0	22
合計	0	2	0	1	7	8	6	5	0	29

２．入居期間別状況（令和５年３月３１日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	4	1	0	2	0	0	7
女	4	2	2	3	1	10	22
合計	8	3	2	5	1	10	29

３．要介護度（令和５年３月３１日現在）　平均　4.04

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	3	3	7
女	0	2	2	12	6	22
合計	0	2	3	15	9	29

４．退居理由（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	7	0	7
合計	0	8	0	8

５．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
1	21	13	1	0	3	39

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
2	5	6	9	3	0	7	0	0	0	7

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	524	525	519	543	528	499	499	473	479	408	475	540	6012
平均介護度	2.80	2.77	2.98	2.89	2.78	2.78	2.71	2.88	2.89	3.19	2.95	3.15	2.90

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
1	30	10	1	0	3	45

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	12	0	5	0	1	5	0	0	2	16

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	552	549	536	548	522	509	485	459	459	434	394	448	5,895
平均介護度	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
2	22	19	7	0	2	52

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	9	2	0	0	0	1	0	0	0	26

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
6	0	1	0	0

資料４　シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和５年３月３１日現在）

平均　：　男性　85.5　歳　　女性　87.1　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	1	0	0	0	3	0	0	4
女	0	1	3	3	5	10	10	6	1	39
合計	0	1	4	3	5	10	13	6	1	43

２．入居期間別状況（令和５年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	0	0	0	2	1	4
女	11	9	8	4	1	6	39
合計	12	9	8	4	3	7	43

３．要介護度（令和５年３月３１日現在）　平均　4.63

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	0	3	4
女	0	0	0	14	25	39
合計	0	0	1	14	28	43

４．退居理由（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	6	0	6
女	0	14	0	14
合計	0	20	0	20

５．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	37	11	0	0	0	48

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
0	0	1	12	12	3	13	0	0	0	7

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	275	268	259	293	249	170	306	300	307	137	241	290	3095
平均介護度	3.4	3.3	3.1	3.5	3.2	3.5	3.6	3.7	3.4	3.8	3.4	3.2	3.4

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
1	28	2	1	0	0	32

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
2	0	1	13	0	0	9	0	0	0	6

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	380	396	381	376	393	224	375	366	346	126	313	409	4058
平均介護度	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	2.4	2.6	2.4

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	30	33	0	0	0	64

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
21	1	2	0	0	1	4	0	0	1	34

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	19.7	23	22	22	22	23	23	22	20	20	19	18	19	253
2	41.2	46	45	43	43	44	45	44	45	43	43	43	44	528
3	15.9	18	18	17	17	16	18	17	15	18	17	15	18	204
4	11.6	11	10	11	11	10	9	8	14	16	17	14	18	149
5	11.5	12	12	13	13	13	15	13	13	12	12	10	10	148
合計	100	110	107	106	106	106	110	104	107	109	108	100	109	1282

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	26	26	26	25	25	25	25	21	22	21	22	23	287
認定調査	在宅	8	2	6	2	9	2	1	0	9	7	8	2	56
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	8	2	6	2	9	2	1	0	9	7	8	2	343

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	3	5	2	3	5	1	3	3	3	10	3	7	48
継続相談	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	1	1	0	2	1	0	1	1	2	4	3	1	17
電　　話	3	4	3	1	3	1	2	1	2	7	1	7	35
来　　所	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	4	4	2	3	5	0	2	2	4	8	4	5	43
福祉事業	3	1	2	0	0	0	0	0	1	3	0	2	12
医療･入院	3	1	1	2	1	1	1	0	0	2	2	2	16
施設入所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	3	5
認知症	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料５　すこやか館合

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和５年３月３１日現在）

平均　：　男性　87.0　歳　　女性　90.8　歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
女	0	0	0	0	3	3	5	4	1	16
合計	0	1	0	1	4	4	5	4	1	20

２．入居期間別状況（令和５年３月３１日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	1	2	1	0	0	0	4
女	2	4	4	2	1	3	16
合計	3	6	5	2	1	3	20

３．要介護度（令和５年３月３１日現在）　平均　4.18

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	0	4	0	4
女	0	1	2	7	6	16
合計	0	1	2	11	6	20

４．退居理由（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	1	4
女	0	12	0	12
合計	0	15	1	16

５．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	59	33	0	0	0	92

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	4	1	3	0	3	27	0	2	3	15

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	444	456	464	488	472	437	460	402	211	328	318	371	4,480
平均介護度	2.82	2.62	2.64	2.75	2.82	2.76	2.67	2.37	2.79	2.53	2.51	2.30	2.63

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
2	33	9	1	0	0	45

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
14	10	0	6	0	2	4	1	0	0	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	1	0

小規模多機能型居宅介護

１．サービス利用状況

利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	239	237	220	223	221	199	215	209	67	230	218	268	2628
泊り	81	82	76	89	96	80	74	84	149	89	71	83	972
訪問	3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	16	27

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	47	65	67	66	67	59	55	56	28	64	58	60	692
泊り	0	17	11	1	8	0	12	10	3	34	33	32	161
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15

２．インシデント年間集計（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	12	8	0	0	0	20

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

資料６　児童発達支援事業「モモの家」

１．入退園状況（令和５年３月３１日現在）　（単位：人）

区分／性別	本年度入園児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度へ移る
		普通	特学	支援学校	その他		
男	51	4	12	0	1	17	34
女	16	2	1	2	2	7	9
計	67	6	13	2	3	24	43

２．年齢別表（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

年齢／人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	その他	合計
合計	0	2	0	11	13	20	21	0	67

４．月別通園状況（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

月別／内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通園延べ人数	119	134	132	128	150	153	150	152	156	117	137	158	1686
療育日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
平均人数	5.67	7.44	6.00	6.40	7.14	7.65	7.14	7.60	7.80	6.16	7.61	7.18	6.97

５．障害の種別（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

障害別／性別	身体障害者手帳有	診断名有（知的障害）	診断名有（自閉症ｽﾍﾟｸﾄﾗﾑ・注意欠陥多動障害等）	診断名有（ﾀﾞｳﾝ症・てんかん等）	その他	合計
男	0	10	4	2	35	51
女	2	2	1	0	11	16
合計	2	12	5	2	46	67

資料７　県南愛児園「ドリームハウス」

１．在籍状況（毎月１日現在）

本園　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
26	26	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27

（平均26.6人／月　利用率88.8%）

分園（地域小規模児童養護施設きずな）　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

（平均　６人／月　利用率100%）

２．短期利用等状況（一時保護、ショートステイ）（月延べ人数実績）

	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	合計
ショートステイ	0	9	5	2	13	31	17	2	0	0	0	0	79
一 時 保 護	0	14	40	30	21	0	0	7	9	6	62	56	245
レスパイト	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	4

３．出身地別　（単位：人）

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	美郷町	東成瀬村	合計
8	5	2	5	5	3	1	3	1	33

４．入所理由別人数　（単位：人）

養育困難	3
養父からの性的虐待	1
実母精神障害による養育困難	2
継父による身体的虐待	2
実母による虐待（ネグレクト）	2
実母による心理的・身体的虐待	5
両親による虐待（ネグレクト）	2
母精神障害によるネグレクト	1
実父による身体的、心理的虐待	4
棄児	1
実母による虐待（身体・心理他）	2
両親によるネグレクト身体的虐待	4
養育者死亡による養育困難	1
両親の低育児能力・ネグレクト	1
両親の精神疾患による養育不安	1
母及び母の交際相手からの虐待	1
合計	33

４．学年別　（単位：人）

	幼児	小１	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	高１	高２	高３	計
男子	1	1	0	0	1	0	1	0	3	3	2	2	1	15
女子	1	1	0	2	0	4	0	3	0	3	1	3	0	18
計	2	2	0	2	1	4	1	3	3	6	3	5	1	33

資料８　横手市サンハイム

１．入退所及び一時保護の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
退所	世帯	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	人数	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6
1日在籍	世帯	9	8	8	8	8	6	6	6	7	7	7	7	87
	児童	16	15	15	15	15	13	13	13	15	15	15	15	175
	合計	25	23	23	23	23	19	19	19	22	22	22	22	262
一時保護【人】		0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (3)	1 (1)	3 (5)

２．措置機関別世帯数

地域別	横手市	羽後町	秋田市	広域	合計
世帯数	4	2	1	0	7
子どもの数	9	5	1	0	15

３．世帯構成数

家族の人数	2人	3人	4人	5人	合計
世帯数	1	4	2	0	7

４．入所理由

夫等の暴力や家族からの虐待	入所前の家庭環境の不適切	母親の心身の不安定	住宅及び経済事情	その他（死別等）
3	2	0	2	0

５．母の年齢

母の年齢	20代	30代	40代	50代
人数	0	5	2	0

６．児童の学年

学年	0～2歳児	3～5歳児	小1～3	小4～6	中学生	高校生	合計
男	0	2	1	1	3	1	8
女	0	1	2	2	2	0	7
合計	0	3	3	3	5	1	15

資料９　障害者支援施設「ひまわり社」

１．利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	135	118	150	118	121	135	144	134	154	129	137	158	1633
就労Ｂ	206	194	222	179	196	195	199	194	193	175	181	216	2350

２．利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	10	2	12
就労Ｂ	8	3	11

３．障がい種別（人）

	知的	身体	精神	合計
生活介護	11	4	1	16
就労Ｂ	10	2	1	13

※重複あり

４．障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	0	5	4	3	4.83
就労Ｂ	―	1	2	―	―	―	2.66

５．日中一時支援事業　利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	51	52	50	48	46	49	61	66	64	38	49	50	624

６．相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援（計画・児）	34	18	19	13	15	21	19	13	21	17	11	10	211